

自民党 目黒区議会議員

木村 あきひろ

区政
レポート
vol.7
2026年3月

先日の衆議院議員総選挙におきまして、投票に足を運ばれた皆様、そして地域の未来を思い行動されたすべての皆様に心より感謝申し上げます。東京26区では今岡うえき氏が初当選を果たし、新たな代表が国政の場へと送り出されました。地域の声を国へ届ける新しい一歩として、今後の連携と成果に期待を寄せてください。

私たちの生活では物価高騰や猛暑の常態化、災害リスクの高まりなど、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした状況を踏まえ、令和8年度目の黒区予算案は、区民の安全と安心を守り、将来世代につながるまちづくりを進める内容となっています。

特に、防災カタログの配布や水害ハザードマップの更新など、災害への備えを強化する取り組みが進められます。また、妊産婦の緊急入院受入体制の整備や、保育施設における熱中症対策の推進など、子どもと子育て世代を守る施策も充実しています。さらに、子ども・若者の社会参画を促す事業など、将来の地域社会を支える人材育成にも力が注がれています。

社会環境が大きく変化する今だからこそ、自治体には区民生活に直結する施策を着実に進めていく責任があります。国政との連携も視野に入れながら、地域の課題解決と暮らしの向上につなげていくことが求められています。

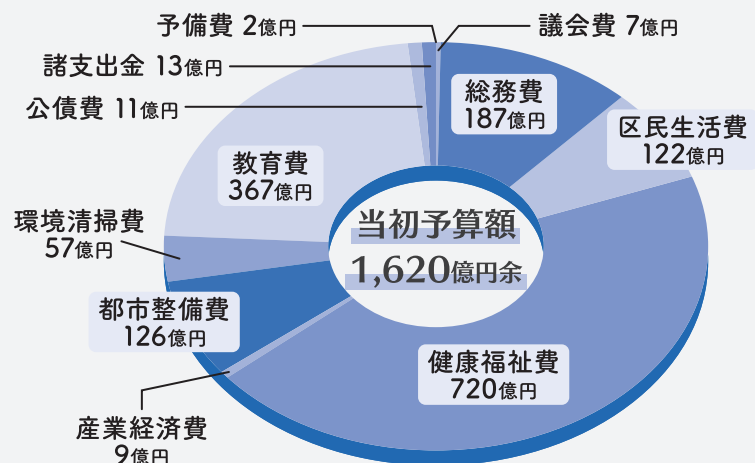
これからも区民の皆さまの声を大切に、安心して暮らし続けられる目黒の実現に向けて取り組んでまいります。

目黒区議会議員 木村あきひろ

令和8年度 目黒区予算について

予算とは、区民の皆さまからお預かりした税金をもとに、福祉・教育・防災・まちづくりなど行政サービスをどの分野にどの程度配分するかを示す「まちの設計図」です。

令和8年度予算は「区民の暮らしを守り、未来につなぐ」ことを基本に編成され、一般会計は過去最大規模となりました。子育て・福祉・教育環境の充実、安全・安心の強化、デジタル化による利便性向上などに重点配分し、物価高騰や社会環境の変化に対応しながら、持続可能な区政運営を進めていく内容となっています。



プロフィール

平成3年11月19日目黒区生まれ、目黒区育ち。目黒区立下目黒小学校、目黒区立第三中学校（現大鳥中学校）を卒業後、アメリカ・カナダの高校に通う。その後、埼玉大学教養学部に進学。在学中は中国人民大学に留学。卒業後はAIG損害保険株式会社、PwCあらた有限責任監査法人で勤務。令和2年から衆議院議員辻清人事務所（東京2区）で公設秘書を勤める。令和5年4日目黒区議会議員選挙にて初当選。

主な役職

令和5年度 所属委員会等
・企画総務委員会 ・区有施設等調査特別委員会
・自民党目黒区議団会計
令和6年度 所属委員会等
・文教・子ども委員会 副委員長

Pick Up

令和8年度予算案における施策

1

防災カタログ配布事業 10億2558万円

各家庭の防災力向上を目的に、1人3,000円相当の防災用品を選べる「防災カタログ」を全戸配布します。災害時の自助力を高めるとともに、啓発冊子の配布により日頃の備えの重要性を周知し、区民の安全確保につなげます。



2

止水板等工事助成 800万円

近年の集中豪雨による浸水被害に備え、区では個人・法人への浸水対策を支援するため、個人向けは補助率90%へ引き上げ、自己負担の軽減を図ります。法人向けは補助率75%を維持しつつ、補助上限額150万円へ引き上げます。さらに建物条件による制限を見直し、対象を拡大します。



3

自然宿泊体験教室・卒業記念アルバムの保護者負担軽減 1億4493万円

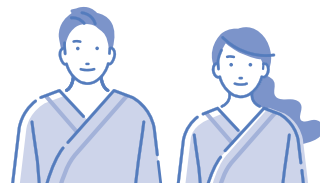
自然宿泊体験教室の参加費補助を拡充するとともに、卒業記念アルバム作成費への支援を実施します。教育活動に必要な費用負担を軽減することで、すべての児童・生徒が安心して学校行事に参加できる環境を整え、子育て世帯を支える取り組みを進めます。



4

胃がん検診受診券一斉送付 4723万円

胃がんの早期発見・早期治療を推進するため、対象年齢の区民へ胃がん検診受診券を一斉送付します。申込み手続きの負担を軽減し、受診のきっかけをつくることで受診率の向上を図ります。



5

区内全域の路上喫煙禁止 7120万円

受動喫煙の防止や吸い殻のポイ捨て対策、安全で快適な歩行環境の確保を目的として、区内全域で路上喫煙禁止の取り組みを推進します。公共空間の環境美化と子どもや高齢者を含むすべての人が安心して過ごせるまちづくりを進めます。



下目黒小学校新校舎検討地域懇談会の発足

下目黒小学校の建替えにあたり、保護者や地域住民、関係団体、学校関係者、区職員等で構成する「新校舎検討地域懇談会」を設置します。新校舎整備に向けて情報共有と意見交換を行い、地域の声を計画に反映させることを目的としています。子どもたちが安心して学べる教育環境の充実と地域コミュニティの拠点として親しまれる学校施設づくりを目指します。傍聴申込は目黒区ホームページから！

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
児童が通う校舎	既存校舎		▼R11.3 仮校舎			▼R15.3 新校舎		
基本構想	基本構想							
基本設計・実施設計	基本設計・実施設計							
解体・新校舎建設				解体・新築工事				
めぐろ学校サポートセンター増築・改修	増築・改修工事							

木村あきひろ
事務所

住所：目黒区下目黒 2-22-11
電話 / FAX：03-6824-1991
メール：kimura@akihero.tokyo

各種等
SNS



木村あきひろの活動をご支援ください。
・年会費等なし・各種ご案内
・ボランティアスタッフ募集

